

## 第1回 小樽市看護職員確保対策協議会 議事要旨

【日 時】 令和6年5月29日(水) 18時00分～19時20分

【場 所】 小樽市医師会館4階 第2研修室

【委 員】

出席委員 小樽市医師会長、北海道看護協会小樽支部長、小樽公共職業安定所長、  
小樽市立高等看護学院副院長、小樽市立高等看護学院事務長、  
小樽市保健所長

欠席委員 小樽市医師会副会長、小樽市副市長

【事務局】 小樽市保健所保健総務課：課長、主幹、主査

【次 第】

- 1 開会
- 2 委員紹介
- 3 小樽市看護職員確保対策協議会設置要綱について
- 4 協議事項
  - (1)小樽市看護職員の確保に関する現状について
  - (2)今後の進め方について
  - (3)その他
- 5 閉会

【4 協議事項（要旨）】

(1)小樽市看護職員の確保に関する現状について

- ・協議に先立ち、保健所長から、市内の看護師養成施設の現状と、新たな看護学校の設立に向けて協議会を設置して検討を進めてきたが、解決の難しい課題が判明し、本年2月に検討を終了したことを説明。今後の看護職確保に向けた取組みを着実に進めるために、この度本会議を設置することとし、関係する機関・団体の皆様に様々な角度から忌憚ない意見をいただきたい旨依頼。
- ・事務局から小樽市の将来推計人口などを用いて、看護職員の不足が見込まれる状況について説明。
- ・各委員からは、人口減少や少子化の影響もあり、全道的に看護学校受験者数は減少傾向にあることや、奨学金制度は就業義務の期限があるものの病院に残るきっかけづくりとして看護職確保に一定程度役割を果たしていること、資金的な援助については病院側の経営状況との兼ね合いもあるなどの意見が出された。

## (2)今後の進め方について

- ・事務局から看護職員の確保に向けての3つの柱（新卒者確保、既卒者掘り起こし、離職防止）を、今後の協議の中心としていくことを説明。
- ・委員からは、小中高といった早い段階でキャリア教育として看護医療業界で働くことの魅力を伝えていく必要性や、潜在看護師の復職支援対策として職場環境や処遇改善を行うことの重要性、転居費用や引っ越し手当の意味合いで支度金といった制度を実施している自治体もある、などの意見が出された。
- ・事務局より、今後のスケジュールとして、協議会は年4回程度を想定していることを説明した。

## (3)その他

- ・事務局から、次回以降の協議会への傍聴者参加について委員の意見を伺った。
- ・委員より、建設的な議論を行うためには、現場の生の声も紹介していきたいと考えていたが、会議を公開で行うこととなれば、話の内容を抽象的なものにとどめざるをえないとの意見が出された。結果として、会議は公開せず、議事内容を照会された際は事務局が窓口となり対応し、議事要旨の作成に当たっては、各委員の確認を得た上で公開することとなった。また、会議に提出された資料の要点についても、議事要旨の中に含めることとなった。
- ・事務局より、次回の会議では、各委員から今後の対策について意見やアイデアの提供をお願いしたい旨伝えた。